

藍住町 第108号

議会だより

2022(令和4)年2月25日

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)
<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



12月定例会

令和3年度補正予算 P. 3

一般質問 ～町政のここが聞きたい～ P. 5～7

わたしの一言・議会のうごき P. 8



12月議会定例会が12月10日から23日までの14日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では3人の議員が登壇し、町政について質問しました。

12月定例会

～町長提案～

- 令和3年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認 ……可決
歳入歳出それぞれ4,552万1千円を増額し、予算総額を116億7,152万1千円とする
- 令和3年度藍住町一般会計補正予算 ……可決
歳入歳出それぞれ5億347万9千円を増額し、予算総額を121億7,500万円とする
- 令和3年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算 ……可決
- 令和3年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算 ……可決
- 令和3年度藍住町水道事業会計補正予算 ……可決
- 令和3年度藍住町下水道事業会計補正予算 ……可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正 ……可決
未就学児に係る国民健康保険税均等割額の軽減措置が導入されることに伴う一部改正
- 藍住町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 ……可決
- 藍住町国民健康保険条例の一部改正 ……可決
国民健康保険法の一部改正に伴い、出産育児一時金を40万4千円から40万8千円へ改正
- 令和3年度藍住町一般会計補正予算（第5号） ……可決
子育て世帯への国の臨時特別給付事業において先行給付金5万円と合わせて年内に一括で現金10万円を給付することが選択できるようになったことに伴う補正
歳入歳出それぞれ3億1,700万円を増額し、予算総額を124億9,200万円とする
- 藍住町政治倫理審査会条例の制定 ……可決
藍住町議会議員政治倫理条例の適正な運用等を図るため、外部の委員からなる藍住町政治倫理審査会を置き、議員の政治倫理に関する事項について調査審議する
- 藍住町副町長選任の同意 ……奥田浩志氏

～議員提案～

- 藍住町議会議員政治倫理条例の一部改正 ……可決
政治倫理審査会の審査等について、外部の意見を反映させることにより、町民の信頼に応え、公正で開かれた審査会の運営を図る
- インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書 ……可決

～陳情～

1件の陳情があり、議員に配布しました。

- 電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い
陳情者 一般社団法人 徳島県設備業協会
会長 石川 雅一

子育て世帯への臨時特別給付事業に ▶▶▶ 6億3,900万円 ◀◀◀

令和3年度補正予算

一般会計

歳入歳出
それぞれ 8億2,048万円増額

予算額 124億9,200万円

～主な補正の内容（1万円未満四捨五入）～

総務費

◆後納郵便料金 480万円

民生費

◆子育て世帯への臨時特別給付事業
①先行給付金分 3億2,200万円
②一括給付が選択可能となったことによる増額分 3億1,700万円
◆後期高齢者医療費 1,537万円

衛生費

◆新型コロナワクチン接種事業費 6,303万円

農林水産業費

◆地籍調査事業費 2,370万円

土木費

◆一般町道新設改良費 1,630万円
◆一般排水路新設改良費 600万円

教育費

◆南幼稚園駐車場用地購入費 2,001万円

(1万円未満四捨五入)

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	6,149万円	35億1,149万円
介護保険事業	321万円	28億4,576万円

会計名	補正額	補正後の額	
水道事業	収益的支出	30万円	5億1,588万円
	資本的支出	2,020万円	4億9,425万円
下水道事業	資本的収入	3,325万円	11億4,804万円
	資本的支出	3,325万円	12億1,781万円



各種功労者表彰

1月9日、藍住町各種功労者表彰式が行われ、町議会議員として通算12年以上在職した者として、次の方が表彰されました。

平石 賢治 副議長

請願・意見書

1件の請願があり、賛成多数で採択されました。

● インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める請願書

請願者 公益社団法人 藍住町シルバー人材センター 理事長 久次米 武

紹介議員 平石 賢治

「インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書」を提出

提出先 厚生労働大臣、財務大臣

(内容)

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5（2023）年10月に、消費税において適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はない。

人生100年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きをおいた「いきがい就業」をしているセンターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。センターにとっては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。

シルバー人材センターが、安定的な事業運営が行え、また、会員の手取額を減少させ、高齢者のやる気、生きがいを削ぐことのないよう、適格請求書等保存方式導入にかかる適切な措置を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は5月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政、議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
※郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 函 gikai@aizumi.i-tokushima.jp



かみなが よしお 議員
紙永 芳夫

高橋町長の2期目の町政への取組について

町民の福祉の向上と町の発展のため
全力で取り組む

問 いよいよ高橋町政の2期目のスタートである。新たなステージのもと、これまで以上に町民が幸せを実感できる町政の推進・実現を期待している。2期目、4年間のスタートにあたり今後の町政をどう進めていくのか。

答 全国的に人口減少や少子高齢化が進みつつある中、本町にとって重要な施策は、未来につながる投資や持続可能な子育て支援などである。今後とも町民の皆様の声を真摯に伺い、町の発展のために全力で取り組んでいく。

問 高橋町長は、今回の町長選挙を通して多くの町民の声を聞き、町内をくまなく回ることで、藍住町への思いをより一層強くしたのではないかと。また、掲げられた公約は、いずれも町民からその実現が待ち望まれているところである。今後これらをとどのような方針のもとに進めていくのか。

答 スポーツパーク・バーベキューパークについては、町財政への負担を極力少なくするよう検討しつつ、建設候補地の選定などを進める。放課後児童クラブでの昼食支援については、働く保護者の負担軽減を図るため、弁当を給食費並みの価格で提供し、当日の要・不要を選択可能とするなど、柔軟な対応ができる制度設計に努める。ほかにも公約を掲げているが、各施策の進捗に伴い議会で説明させていただきたい。

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について

国の動向を注視しつつ円滑な接種に向けて取り組んでいく

問 本町では、町民体育館での効率的な集団接種など、町民の方への積極的なワクチン接種が行われてきた。3回目接種をする上で、接種対象者や接種するワクチンの種類等の基本的な考え方について尋ねる。

答 3回目の接種では、ファイザー社製か武田・モデルナ社製のワクチンを選択することとされている。接種対象は現時点では基本18歳以上で、本町では約2万4500人が対象。既に医療従事者の接種は始まっており、1月からは高齢者への接種を予定している。

問 高い接種率を誇る本町のワクチン接種だが、コールセンターへの電話がたがらずスムーズに予約できない高齢者が発生した。

高齢者への対応を含め、3回目の接種が本格化する1月に向けてどのように準備を進めているのか。

答 コールセンターの電話回線を増設するとともに、新たに藍住町の高齢者専用の回線を設けるなどして予約電話の受付体制を強化した。加えて、予約支援窓口の開設など、できる限りの支援を行っていく。



新たに設けた藍住町民専用の新型コロナウイルスワクチン特設予約センター



はやし 林 議員
しげる 茂 議員

汚点を残した藍住町長選挙

町長として藍住町を思う気持ちは誰にも負けない

問

西川議長が質問取下げ要求。14日早朝に町長選挙に関する一般質問通告書①怪文書に対する町長の見解を問う。②公開討論会に不参加の理由。2つの質問取下げを要求された。取下げを拒否すると「謝らなアカンようになる」と恫喝された。これは議会制民主主義を破壊する行為で、言論の府である議会に対する介入を許すことはできない。町長、議員は特別公務員であり憲法を守る義務がある。

①無差別に郵送された怪文書は、宗教を悪用した人権侵害、政治活動妨害。これを許すと民主主義の破壊につながる。町長の見解を問う。

②民間が両候補による討論会を企画したが、高橋町長は公務を理由に不参加。なぜ町政への思いを語らなかったのか。

③投票率低下の原因と対策は。

答

①文書は目的等が不明で、既に警察にも相談しているとのことであるため、コメントは差し控える。

②討論会については、事前の日程調整もなく一方的に開催日時を決めて通知があった。また、現職の町長として、町政を停滞させないために公務を優先したことから欠席させていただいた。

③全国的にも若者の政治離れが進んでおり、平均年齢が若い本町でもその影響が大きいのではないかと考えている。

今回の町長選挙では、従来の啓発活動に加え、広報の回数を増やすなど、一層の周知に努めた。

投票区	当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率
第1投票区	2,154	1,045	48.51%
第2投票区	2,408	1,095	45.47%
第3投票区	3,878	1,659	42.78%
第4投票区	3,248	1,565	48.18%
第5投票区	4,075	1,597	39.19%
第6投票区	3,135	1,406	44.85%
第7投票区	3,325	1,344	40.42%
第8投票区	2,668	1,216	45.58%
第9投票区	3,846	1,735	45.11%
計	28,737	12,662	44.06%

令和3年11月21日執行 藍住町長選挙投票率

高齢者の移動手段を

利便性や財政面からもタクシー券のほうが効果的

問

コミュニティーバスを導入しないという結論に至った経緯は。

運行経路や需要面、財政面からの課題。現在負担している一般路線バス系統の維持に係る補助との競合や費用対効果の課題など、慎重に検討すべき課題が多くあることから、現時点での導入は困難であると結論に至った。

タクシー券の予算と使用状況は。使用した町民からの苦情をどのように受け止めているのか。

答

予算は800万円を計上しており、使用状況は7月から11月末までで1176件、交付したチケットの約7・8%の利用。

頂いた御意見については今後事業内容等の検討の参考としたい。

要援護世帯への灯油助成を

生活困窮世帯へ2千円助成

問

灯油価格が昨年に比べ大きく上昇し、県民生活に重大な影響を与えている。収入の少ない高齢者、障がい者、ひとり親、生活保護などの要援護世帯に灯油購入代金助成を。

答

県は灯油購入費に係る助成制度として、生活困窮世帯へ1世帯当たり2千円を助成する制度を創設した。本町は、この制度に沿って、町内の住民税非課税世帯、約3500世帯に助成を行っている。





おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英

高齢者対策について

高齢者が暮らしやすい
まちづくりを推進していく

問 藍住町の民家の井戸から白骨遺体が見つかった事件で、自宅の井戸で白骨化していた夫の死亡を届け出ず、夫の分の年金を不正に受給し続けたとして詐欺の疑いで妻が逮捕された。町が徳島板野署に相談したとのことだがどういう経緯であったか。

答 11月中旬に当該家の生活について会議があり、これまで夫の姿を見ておらず、状態確認の必要があることから職員が家を訪問したが、会うことができなかった。そこで、11月19日に警察に相談し、すぐに警察が安否確認に行くことになった。その後については、新聞報道のとおり。

問 高齢者の孤独死は10年で約2倍に増えているが、孤独死が起きないような対策は。

答 民生委員の月に1回程度の訪問による安否確認や、町が民間事業所との間で結んでいる、高齢者等の見守りに関する協定により、異常がある

場合は、町に連絡をしてもらえることになっている。

問 認知症の実情と対策はどのようになっているか。

答 本町では、高齢者8861名のうち899名に何らかの認知症状があるとされている。認知症に対する相談は、地域包括支援センターを中心に行っており、家族等と相談しながら必要なサービスが利用できるよう支援している。

問 免許証返納者や移動手段のない方に対する取組で、今回の町長選挙の争点の1つでもあったコミュニティバス導入は高齢者の多くの方が望んでいる。住民の意見を聞く姿勢も必要と思うがどうか。

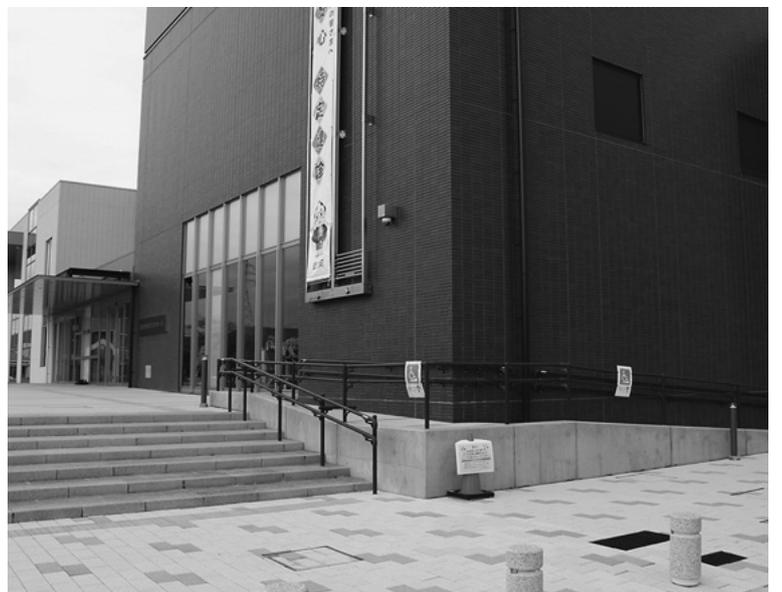
答 御意見やタクシー事業者等のヒアリング内容を参考にし、来年度の事業内容の詳細検討にしていきたい。

問 ゆめタウンで行っている健康ウォーキングポイント事業はいつ再開するのか。

答 感染状況を見ながら、可能であれば、来年度の再開を目指して検討したい。

問 文化ホール南側入り口について。駐車場に車を止めて専用通路を歩くとき雨の場合ぬれてしまう。つえをついている人は傘が差せない。通路に雨よけをとの要望があるが。

答 障がい者用駐車場からの雨よけについては検討したい。



総合文化ホール障がい者用駐車場から南側入り口への通路

新型コロナウイルスについて 気を緩めることなく 感染対策に努めていく

問 南アフリカなどで確認された新型コロナウイルスの新たな変異株オミクロン株がヨーロッパ各地で広がり、7日には初の日本人感染者が確認された。徳島県でも濃厚接触者が出るなど心配されるが、オミクロン株対策は。

答 引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いするとともに、様々な機会を捉えて広く周知、啓発を行っていく。

～相手ファーストの社会を～

トランプ前アメリカ大統領の「アメリカ・ファースト」は有名な言葉になりました。何事も自国中心の考え方です。自国ファーストも大切ですが過ぎると他国とのバランスを崩し取り返しのつかないことになります。日本社会は、自分ファーストが目立つように思います。自分ファーストは、権利の主張のみになりかねません。

日本には後藤新平（1857年～1929年）という立派な医者であり、政治家がいました。大正12年の関東大震災を復興して今の東京都の原形を作りました。台湾統治も有名であります。その後藤新平の教えに、自治三訣があります。①人のお世話にならぬよう②人のお世話をしよう③そしてむくいをもとめぬよう、三訣はどの時代にも必要で大切なことでないでしょうか。

私も何か社会のお役に立ちたいと思っている時、和田哲雄前教育長から民間での不登校者の受け皿になってもらえたらと、前教育長が命名した「ほんわか庵」というよりどころを自宅に開設しました。結果的には実績はありませんでしたが、ひとりひとりが自分のできることから、今こそ相手のお役に立てることを考えて実行する社会ではないでしょうか。



議会のうごき

11月

- 4日 議会だより編集委員会
- ▼107号の校正について
- 6日 福祉・健康づくり大会表彰式
- 10日 板野町正副議長就任挨拶
- 11日 忠魂碑・招魂碑献花式
- 12日 板野郡町議会議長会定例会
- 15日 自治振興セミナー (上板町)
- 26日 町村議会議長全国大会
- ・町村議会議長全国研修会
- 12月
- 3日 議会運営委員会
- 10日 12月議会定例会開会 p2
- ・議会全員協議会
- ▼藍住町の交番大型化について
- ▼子育て世帯への臨時特別給付事業について
- ▼議会議員政治倫理審査会について
- ▼藍の館及びあいずみ藍工房の指定管理について
- ▼議会運営委員会
- 20日 12月議会定例会一般質問 p5 p7
- ・議会全員協議会
- ▼子育て世帯への臨時特別給付事業について

1月

- 9日 各種功労者表彰式 p4
- 13日 議会だより編集委員会
- ▼108号の作成について
- 14日 鳴門市正副議長就任挨拶
- 15日 徳島県平和大使セミナー (徳島市)
- 23日 12月議会定例会閉会
- ▼藍住町政治倫理審査会条例の制定について
- ・議会改革調査特別委員会
- ▼議会議員政治倫理条例の一部改正について
- ▼議会ペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入について



感染対策をしながら行われた成人式

編集後記

昨年からの経済活動が少しずつ動き出しました。1年間延期になっていたオリピックでは、多くの日本人選手がメダルを獲得し、コロナ禍で窮屈な生活を送っていた国民にたくさんの方の感動を与えました。

我が町においても、町長選挙による高橋英夫町長の2期目の当選や、延期になっていた昨年度の成人式を行うことができ、良かったと思います。

我々議員も、任期4年のうち2年が終わり、折り返しになりましたが、これまで以上に町民の皆様への負託に応えるため、議員同士がお互いに切磋琢磨しながら努力を続けてまいります。

(前田 晃良)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 紙 永 芳 夫 |
| 副委員長 | 森 伸 二 |
| 委員 | 前 田 晃 良 |
| 委員 | 竹 内 君 彦 |
| 委員 | 奥 村 晴 明 |